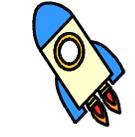


◆ 鹿島中学校 生徒用危機回避マニュアル ◆

想定事態	生徒の基本的な対応・行動
<p>震度6弱以上の地震発生時</p> 	<p>【学校においては・・・】</p> <p>① 建物から離れた適切な場所に一時避難した後、安全な場所（※校庭の中央等）に避難しましょう。 ※ 安全な場所とは、物などが、「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」所です。</p> <p>② tetoruでの配信や市の防災無線を使用して、保護者へ引渡し連絡をしますが、インターネット回線や無線が使用不可の場合でも、保護者（引取人）に来校してもらい、迎えに来た生徒から下校します。</p> <p>【登下校時においては・・・】</p> <p>① 安全な場所で揺れがおさまるのを待ちましょう。揺れがおさまったら、ア「保護者が来るのをその場で待つ」、イ「自力で自宅に帰る」、ウ「学校に向かう」のいずれかを、その場所等から選択し行動しましょう。その際、事前に、家族と相談し、「この場所だったら帰宅する。この場所だったら登校する。」等の基準を決めておくことが大切です。</p> <p>【津波の危険がある場合・・・】</p> <p>① 津波警報が発令された場合は、校舎（3階）や屋上等へ直ちに避難しましょう。</p> <p>② 修学旅行先など、学校外で大きな地震が起き、その後、津波が来ると予想された場合は、最悪の事態を考え、できるだけ早く、高台等安全な場所に避難しましょう。何よりも自分自身の命を守ることを最優先し、行動することが大切です。</p> <p>【まちが落ち着きを取り戻したら・・・】</p> <p>① 「中学生として自分にできることは何か？」を考え、安全な範囲でボランティア活動を行いましょう。</p>
<p>震度5程度の地震発生時</p> 	<p>【学校においては・・・】</p> <p>① 学校内で安全な場所に一時避難した後、通常の授業に参加します。</p> <p>② 学校施設に重大な被害があり、授業を行うことが困難な場合は、一斉下校を実施する場合があります。この際は、職員が付き添ったり、自家用車で巡視したりするなどの下校指導を行います。</p> <p>③ 翌日の予定等について、tetoruでの配信で対応等に対する情報の配信を行います。</p>
<p>学区内及び校内で事件発生時</p> 	<p>【通り魔等重大な事件】</p> <p>① tetoruでの配信を行い、保護者に引渡し連絡をするので、担任の先生の指導のもと、迎えに来た生徒から順次下校することになります。なお、引渡しは教室とは限らず、安全が確保できる場所で行います。</p> <p>【不審者・変質者等の出没】</p> <p>① 先生から、具体的な事案の内容を聞き、十分注意して下校や翌日の登校をしましょう。</p> <p>② 状況に応じ職員が下校指導を行いますが、途中から一人になる道がある場合は、十分注意しましょう。不審者等に遭遇した場合は、躊躇することなく、近くの家や「子どもを守る110番の家」に逃げ込みましょう。状況によっては、鹿嶋警察署にも連絡しましょう。</p>
<p>竜巻発生時</p> 	<p>【教室等屋内にいる場合】</p> <p>① 窓やカーテン、ドア等を閉め、窓から離れましょう。</p> <p>② 頭を保護する物が身近にある場合、頭を保護した上で、更に、机やテーブルの下に入るなど、自分の身を守る工夫をしましょう。</p> <p>③ 校舎内の最下階やできるだけ窓のない教室等の中央部に移動しましょう。</p> <p>【体育の授業等、屋外にいる場合】</p> <p>① 校舎など頑丈な建物に避難しましょう。物置やプレハブ（仮設建築物）など、簡易な建物等には避難してはいけません。</p> <p>② 屋内に避難できない場合は、頑丈な建物の物陰に入って、身を小さくしましょう。または、くぼみに身を伏せ、両腕で頭と首を守りましょう。</p> <p>【登下校の場合】</p> <p>① 近くの頑丈な建物に避難しましょう。建物に避難できない場合は、カバン等で頭を保護し、くぼみなどに低く身を伏せるようにしましょう。</p> <p>② 電柱や太い樹木も倒壊する危険があるので、近寄らないようにしましょう。</p> <p>③ 飛んで来る物や屋根がわらの飛散に注意しましょう。</p>
<p>雷発生時</p> 	<p>【学校にいる場合】</p> <p>① 雷が鳴り止むまで校舎内で待機しましょう。</p> <p>② 落雷は遠くても、不規則に発生することから、屋外にいる場合、速やかに安全な場所（鉄筋コンクリートの建物等：校舎や体育館）に避難しましょう。</p> <p>【登下校の場合】</p> <p>① 雷鳴が聞こえたらすぐに建物の中や自動車等へ避難しましょう。</p> <p>② 近くに避難する場所がない場合は、樹木や電柱などに近づかず（※4m以上離れること）に、低い場所を探し、しゃがみ込むなどできるだけ姿勢を低くすることが大切です。</p> <p>③ 自転車はすぐに降りて、建物に避難しましょう。</p> <p>④ 雷鳴が止んでも20分程度は落雷の危険があります。建物の中や自動車等安全な場所で待機しましょう。</p>
<p>急な大雨・豪雨</p> 	<p>【学校にいる場合】</p> <p>① 大雨が止むまで校舎内で待機しましょう。</p> <p>② 大雨警報、洪水警報、暴風警報等が発表された場合、先生方で、生徒の下校もしくは校内での待機等を速やかに検討するので、その指示に従って行動しましょう。</p> <p>③ 下校時間や方法については、河川やがけ等の状況を把握し、市の教育委員会と相談の上、下校方法や保護者への引渡しなど、生徒の安全を最優先に考え、対応を決定します。</p> <p>【登下校の場合】</p> <p>① 大雨が降り始めたり、空や川に異変を感じたりしたら、すぐに水辺から離れましょう。</p> <p>② 橋の下の雨宿りは厳禁です。</p>
<p>ミサイル飛来</p> 	<p>【教室等屋内にいる場合】</p> <p>① 窓やカーテン、ドア等を閉め、できるだけ窓から離れましょう。</p> <p>② 頭を保護する物が身近にある場合、頭を保護し、自分の身を守る工夫をしましょう。</p> <p>【登下校等屋外にいる場合】</p> <p>① 近くの頑丈な建物に避難しましょう。建物に避難できない場合は、物陰に身を隠し、頭を保護し、自分の身を守る工夫をしましょう。</p> <p>② Jアラートや防災無線等をよく聞き、場所や状況に応じて学校へ避難するか、自宅へ避難するかを家族と確認しておきましょう。また、状況に応じて近くの民家に保護してもらいましょう。</p>



★ 正しい知識と正しい判断で、自分の命は自分で守れるようにしましょう。